

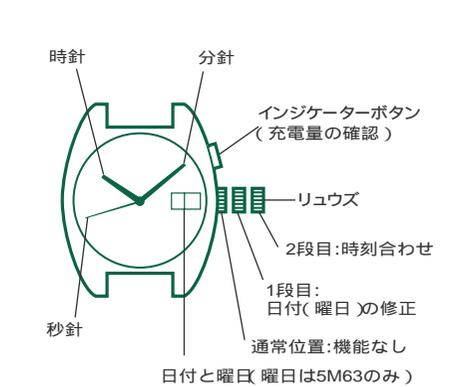
製品の特長

一般のクォーツ式腕時計はボタン電池で動きますが、セイコー KINETIC は「時計を振る」ことによって内蔵された発電機が回され、発電した電気をキネティック E.S.U. に蓄えて時計を動かすという SEIKO 独自の機構を持ったクォーツ時計です。従って、電池交換の必要はありません。あと何日動かかを針の動きでお知らせするインジケータ付きです。フル充電で約 4 ~ 6 ヶ月動き続けます。

⚠ 注意

- あなたの腕の動きを電気に変換して蓄える方式です。静止したままでは充電されません。
- 目安として一日 10 時間以上の携帯をおすすめします。
- 充電量が残り少なくなると、秒針が一度に 2 目盛ずつ運針 (以下 2 秒運針と略します) してお知らせします。「充電のしかた」をよくお読みになって充電してください。

各部の名称とはたらき



モデルによっては「ボタン」と「リュウズ」の位置が異なるものもあります。

ご使用にあたって 充電のしかた

充電のしかた (止まっている時計を動かすには)

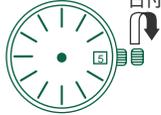
①時計を下図のように矢印の方向に振ってください。1 秒間に 2 往復のリズムで振ってください。この時、秒針は 2 秒運針で動き始めます。約 250 回 (往復) 振ると 2 秒運針が通常の 1 秒運針になります。約 1 日分のエネルギーの蓄えができたこととなります。



1 秒間に 2 往復程度の早さで、約 20cm 位の距離を往復させる様に振っていただくことが最も効果的です。止まってから、一年以上放置した場合、上記の回数では 1 秒運針にならないことがあります。1 秒運針になるまで振ってください。極端に早く激しく振っても効率の良い充電はできません。発電機を回す回転錘の音が聞こえますが異常ではありません。

ご使用方法 日付の合わせかた(5M62 の場合)

充電ができれば、日付を合わせてください。



①リュウズを 1 段階引き出します。リュウズが引き出せない(ネジロック式リュウズ)モデルはリュウズを左に回してネジをゆるめリュウズを 1 段階引き出します。

②リュウズをまわして前の日の日付にセットします。

③秒針が 12 時位置に来たらリュウズを 2 段階目まで引き出して、今日の日付になるまで針をまわします。

④今日の日付が変わると「午前 0 時」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。「時刻の合わせかた」の②へ進んでください。

この時計のリュウズは 2 段階に引けます。

午後 9 時 ~ 午前 3 時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせると、翌日になって明日の日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

月末の日付修正について

2 月(1 月)が 28 日。うるう年は 29 日。と、小の月(1 月)が 30 日。では、月末または翌月の 1 日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

ルミブライトについて

「お買い上げの時計がルミブライトつきの場合」

・ルミブライトは放射性物質等を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光 (蓄えた光を放出する) 物質を使用しています。ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間 (約 10 分間 : 500 ルクス以上) で吸収して蓄え、暗い中で長時間 (約 3 ~ 5 時間) 光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度 (明るさ) は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

充電量を調べるには? (インジケータの使いかた)

- ・発電し蓄えられた充電量を調べることができます。
- ・今からどのくらい動き続けるか (持続時間) が分かります。
- ・ボタンを押すと運針中の秒針が早送りし、その早送りする秒数で持続時間を示します。
- ・携帯中に充電状態を確認する時や腕から外しておく時など、後どのくらい動き続けるかを確認できます。

インジケータが表示する意味

インジケータはキネティック E.S.U. に蓄えられた充電量を調べ、4 段階の表示で示します。段階的で幅を持った表示のため時計が動きつづける時間を細かくは表示できません。

蓄えられた充電量はインジケータで調べることができます。「インジケータの使いかた」を参照) 手振りによる充電の直後はインジケータの示す充電量が若干多めに出る場合がありますので、10 ~ 15 分後に再度ご確認ください。フル充電状態からさらに充電しても過充電防止回路が働きますので、安心してお使いいただけます。

日付・曜日の合わせかた(5M63 の場合)



英文字・和文字お好みの方に合わせてください。



①リュウズを 1 段階引き出します。リュウズが引き出せない(ネジロック式リュウズ)モデルはリュウズを左に回してネジをゆるめリュウズを 1 段階引き出します。

②リュウズをまわして前の日の日付・曜日にセットします。

③秒針が 12 時位置に来たらリュウズを 2 段階目まで引き出して、今日の日付・曜日になるまで針をまわします。

④今日の日付が変わると「午前 0 時」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。「時刻の合わせかた」の②へ進んでください。

午後 9 時 ~ 午前 3 時までは日付・曜日を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせると、翌日になって明日の日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

月末の日付修正について

2 月(1 月)が 28 日。うるう年は 29 日。と、小の月(1 月)が 30 日。では、月末または翌月の 1 日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

時刻の合わせかた



①リュウズを 2 段階目まで引き出すと秒針が止まります。リュウズが引き出せない(ネジロック式リュウズ)モデルはリュウズを左に回してネジをゆるめリュウズを 2 段階目まで引き出すと秒針が止まります。秒針は 12 時の位置に止めてください。



②リュウズをまわして針を合わせます。



③時報と同時にリュウズを押し込みます。ネジロック式リュウズモデルはリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

⚠ 警告

破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、一般の銀電池は絶対に組み込まないようご注意ください。

午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は 24 時間に 1 度変わるように設定されています。) クォーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より 4 ~ 5 分進めてから、逆にもどして合わせてください。時刻合わせは、電話の時報サービス TEL117 が便利です。